

JBLの選手を招いて

大好評！商大バスケット教室 一流選手に触れ、大きく成長

六月二十五日(土)日本最高峰のバスケットボールリーグであるJBL(Japan Basketball League)の選手6名及び東京厚生年金スポーツセンターバスケットボール教室から大野伸仁「T子」を招き、高校生大学生などを対象としたバスケットボール教室を開催いたしました。(於ノ本学体育館)

今年岡山で開催される国体に向け強化が進む岡山県勢を支援すること、そしてクラブ活動の活性化を目的として本学が招いたもので、全日本総合選手権四連覇中の強豪アイシンホスのメンバーで全日本候補の納谷幸一選手、小宮邦夫選手などが指導にあたりました。

午前中は本学バスケットボール部員及び岡山県少年男子の国体代表候補選手との交流ゲーム。午後からは百数十名が参加してのバスケットボール教室が行われ、技術はもちろんのこと、バスケットに対する心構えなど、身心両面からの指導が行なわれました。参加者は一流選手のテクニックや動きに圧倒されたようで、そのまてを吸収しようと食い入るような目で選手を見つめていました。

一流の選手に直接触れることはいろいろな面で大きく成長する契機となることがあります。今回の教室では技術面での上達だけではなく、もっと大きなものを参加者が掴んだようでした。



熱心に指導するアイシン納谷選手(写真右)



卓球部

全国で着実に躍進！ 初の決勝リーグ進出

八月四日(木)〜七日(日)横浜文化体育館で開催された「第七十五回全日本大学対抗卓球選手権大会」男子団体戦で、卓球部が予選を通過し決勝へ進出しました。

卓球部の活躍については前号でもお伝えしましたが、中国地方で圧倒的な勝利を収めてこの大会へ臨みました。予選リーグでは明治大学と東京大学の二チームと対戦し、一勝一敗で決勝リーグへ進出。全国での決勝リーグ進出は、卓球部にとつて初めてとなる快挙です。残念ながら同リーグでは、一回戦で立命館大学に敗退してしまいましたが、この経験は、卓球部員一同に大きな自信を与えたことでしょう。

卓球部 最近の成績

「第七十二回中国・四国学生卓球選手権大会」

(松山市 六月二十日〜二十四日)

団体戦/男子一位

シングルス/一位 岡田健一(産)

「第七十五回全日本大学対抗卓球選手権大会」(横浜市)

予選リーグ：一勝一敗で予選通過

決勝リーグ：岡山商大 1 3 立命大

「第五十六回中国学生卓球選手権大会秋季大会」(福山市 八月十七日〜二十日)

団体戦 男子一位/女子二位

シングルス 男子一位 王 遠(商三)・二位 橋本尚晃(法二)・三位 岡田健一(産)

ダブルス 男子一位/岡田健一(産二)・田中和大(経一)

女子三位/乗松美歩(法一)・下永幸枝(商一)

全日本学生卓球選手権大会へ出場決定(十月六日〜九日 北海道)



着実に実力をつけつつある卓球部(学長から激励を受ける部員一同)

CONTENTS

商大トピック

観光プレゼンテーションコンテストを開催 商学科
公開公務員講座を開催 法学部
法学部開設記念講演会を聴いて
法学部教授 九鬼一人



キャンパス・キャンパス

中四国で五連覇 柔道部
岡山の歴史巡る 留学生視察研修会
大学祭にける実行本部委員長の思い
サークル紹介 軟式野球部



エッセー数珠つなぎ

「旅に出よう！」経済学部 講師 森元早苗



小特集
資格への道のり その3
「簿記検定」への道

就職便り
内定率 昨年同期よりアップ

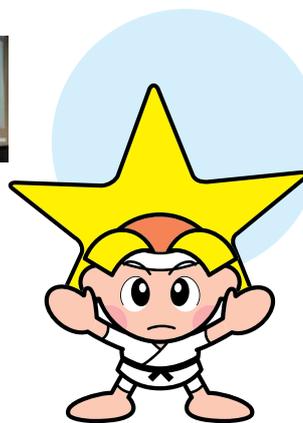
成年女子団体

柔道部 尾崎が 晴れの国おかやま国体

今秋、地元岡山で開催される、晴れの国おかやま国体「秋季大会」に、柔道部の尾崎米子さん(商四)が成年女子団体の部に出場します。



十月二十三日(日)〜二十六日(水)に津山市の津山東体館で行なわれる柔道競技、岡山県チームの一員として、頂点を目指して試合に臨みます。みなさんご声援を！



商大 トピック



今年で三回目となる「観光に関する英語プレゼンテーションコンテスト」は、商学部の改組を受け、商学部の観光ビジネス専攻とビジネスコミュニケーション専攻の主催で、七月二十三日(土)に開催されました。十二組二十九名の発表では、広島、京都などの観光地の紹介、趣味の活動を通じての国際交流の紹介や、環境保護を訴える発表、また、麻薬問題やジブシーへの偏見を扱った観光の光と影に焦点を当てた発表など、観光に対する様々なアプローチが見られました。

また、今年広島から初参加の鈴峯女子高等学校からはメディア・コミュニケーションシヨンの授業の一環として、

Topic 1

商学部

多彩なアプローチで 観光をプレゼン

今年で三回目となる「観光に関する英語プレゼンテーションコンテスト」は、商学部の改組を受け、商学部の観光ビジネス専攻とビジネスコミュニケーション専攻の主催で、七月二十三日(土)に開催されました。十二組二十九名の発表では、



第1位の橋ヶ谷さん

国際コースの三年生全員が参加していただきました。大変残念なことに、入賞は逃しましたが、本コンテストを授業で利用してくださったことに心から御礼申し上げます。入賞者は以下の通りです。

第一位/橋ヶ谷真由

「モーツァルトのオーストリア」
(岡山学芸館高校)

第二位/伊藤仁美・平田久留美
「大正琴、ドイツを訪れる」
(倉敷商業高校)

山陽新聞社賞/渡辺 舞・篠原杏菜
「スペインのジブシー」
(岡山学芸館高校)

(商学部 助教授 松浦美佐子)

Topic 2

夏期公務員
公開講座

商大生大健闘

夏期公務員公開講座が、八月二十二日(月)から三十一日(水)まで行なわれた。開講科目は従来の経済原論(経済学部・梅原教授担当)、行政法(法学部・伊藤担当)に加え今回は数的判断(小川情報教育センター担当)も加わった。参加大学及び参加人数も年々増加する傾向にあり、今回は岡山商科大学、岡山大学、岡山県立大学、川崎医療福祉大学から四十七名が参加した。わが岡山商科大学の九名も他大学の学生とともに最後まで熱心に参加し勉強に励んだ。私が担当した行政法では、最後に行なった確認テストの大学の平均点で、商大は岡山大学の三十七・二点(五十点満点)に次ぐ三十六・六点という好成績を残した。中でも法学科一



他大学の学生と勉強し、よい刺激を受けた

年の三好那依君と三年の山根章徳君は四十点という高得点で、上位五位グループの中に入る健闘ぶりだった。また商学部会計学科の佐藤浩威君は、一年生ながら最後まで熱心に参加してくれた。本学の学生にとって他大学の学生と共に勉強することは、大変よい刺激になっており、参加した全員が次回にもぜひ参加したいという希望を出している。

本講座を通して本学の学生が一人でも多く公務員試験に合格できるよう、これから冬の講座と春の講座もがんばってきたい。(法学部長 伊藤治彦)

Topic 3

社会総合研究所

公開研究報告会を開催 研究成果を地域へ還元

社会総合研究所では、平成十七年八月二十日(土)に公開研究報告会を開催しました。この報告会は大学での日頃の研究成果を企業社会、地域社会に還元するという趣旨で毎年行われています。なおこれらの研究は平成十六年度の社会総合研究所研究助成により行われています。受講者の方からは、会社で事業を進めていく上での参考になった、初めて聞く内容もあり勉強になったなどの声が寄せられました。講演の内容は次のとおりです。

「センの経済倫理と自己利益概念」
法学部 教授/九鬼 一人

「品質保証のマネジメントシステムに

Topic 4

法学部

行政書士法学講座が 開講

現役の行政書士を対象とした「法学講座」が六月十八日(土)から始まりました。複雑化した社会において行政書士はさまざまな状況に対応するためのスキルが要求されるようになり、本学は岡山県行政書士会などの要請を受けて協定を締結し、昨年からは行政書士のための法学講座を開講しています。

本年度は全四十回の講座が開講され、民法や行政法、憲法などのカリキュラムが組まれています。受講者は必要なものを任意で選び、毎回五十名を超える受講生が教室を埋めています。



6月9日開講に先立ち
記念講演が行われた

座が六月十八日(土)から始まり、複雑化した社会において行政書士はさまざまな状況に対応するためのスキルが要求されるようになり、本学は岡山県行政書士会などの要請を受けて協定を締結し、昨年からは行政書士のための法学講座を開講しています。

Topic 5

後援会

総会・懇談会を開催

平成十七年度後援会総会及び懇談会が六月二十五日(土) 本学大会議室で開催されました。

十六年度の後援会活動状況について報告された後、十七年度教育活動への支援、夏季保護者懇談会の開催について協議が行なわれ、承認を得ました。また役員の一部改選も行われ、新たに四名が選出されました。

引き続き行なわれた懇談会では、教育・学生生活・就職についての本学の取り組みや状況を、各担当部長が説明、集まった保護者は熱心に資料に眼を通し、耳を傾けていました。

当日参加いただいた保護者の方と短時間ながら充実した時間を持つことができました。(総務企画課)



充実した時間を持つことができました

Topic 6

入試広報課

オープンキャンパスに多数参加 専門知識の修得に専心

二〇〇五年オープンキャンパスが、七月二十三日(土)、八月五日(金)・二十日(土)の三日間にわたり開催され、

多数の高校生、保護者にご参加いただきました。



熱心に質問する参加者

従来から好評の「体験授業」、「先輩トーク」などに加え、新企画として大学生活を先取り体験できる「キャンパスライフナビ」、入試制度・試験科目の出題傾向を解説する「入試対策講座」を設定し好評を得ました。

参加者のアンケート結果によると、「将来どのような仕事に就きたいですか?」との問いには、「公務員」、「情報関係」などが上位を占めており、経済状況を踏まえて堅実かつ高度な専門知識の修得に関心があることがうかがえました。(入試広報課)

Topic 7

カンボジア政府から感謝状



カンボジア政府保健省から井尻学長に感謝状が贈られ八月二十六日(金)学長室で贈呈が行なわれました。これは今年の三月本学がカンボジア政府にコンピューター

やプリンタ等を寄附したことに對するもので、政府の保健省大臣と副大臣から感謝の意が表されました。

法学部開設記念講演会を聴いて

法学部教授 九鬼 一人

岡山商科大学法学部開設を記念して下記の次第で講演会が開催された。

日時 / 2005年6月30日 15:00 ~ 17:00

場所 / 岡山商科大学781番教室

講師 / 粟屋剛氏 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科教授)

演題 / 「中国における死刑囚からの臓器移植 その現実・法・倫理」

本講演は、中国政府が公にしていない臓器移植の「現実」を独自の聴き取り調査と内部文書に依拠して明らかにするものであった。講師粟屋氏は、中国は司法が屍体利用に関与している特殊事情があること、しかも中国では内部文書において厳重に秘密を守らねばならない旨が記されていると述べられた。氏の下された事実判断の当否については、聴衆の良識に任せる他はないが、その蓋然性は高いであろう。特に中国の特殊事情として死刑執行が毎年約一千件に上り、窃盗罪でも死刑が課され得るから、人権に抵触することが考えられる。中国における死刑囚からの臓器移植は、氏によれば、大まかに言って、死刑囚からの臓器提供を社会に対する最終的な貢献とする見方、さらに功利主義的な要請等によって正当化されている。また移植が「カニバリズム」(人肉嗜食)の要素を持つというショッキングな指摘もなされた。こうした問題は生命倫

理学の領域に属すものであり、氏は、本来移植については任意同意という形で、自己決定権が行使されるべきであるが、中国の現体制の下、そうした十全な自己決定は望むべくはない、と考えておられるようである。ただし氏は、死刑囚やその関係者は対価として見合うだけの金銭を受け取っていないので、死刑囚からの移植は臓器売買ではないとお考えであり、いたずらにレッテル張りすることに対しては抑制的論調であったことを明記しておきたい。講演の締めくくりでも、臓器移植が中国で必要悪と見なされたのは、背景となる立場の違いがあると示唆され、事情の複雑さが強調されていた。

聴衆は冒頭から、フィリピンの刑務所の実態を、一カ月もの時間をかけて刑務所職員と懇意になることによって入手した、というエピソード等によって、たちまちの内に氏の高説に引き摺り込まれ、講演会場は熱気に包まれた。

なお、粟屋剛氏は九州大学卒業後、西南学院大学大学院にて医療過誤の研究に携われ、その後臓器移植等の生命倫理学・医事法学・医事法社会学に係わる問題を、フィールドワーク調査に基づいて第一線で鋭意研究されている斯学の中堅研究者である。



会場は、たちまちの内に氏の高説に引き摺り込まれた

雪辱は果たし王者復活 中四国体重別大会

柔道部



大会五連覇を成し遂げた

八月二十八日（日）愛媛県立武道館で開催された「平成十七年度中四国学生柔道体重別団体優勝大会」で柔道部が五年連続五回目の優勝を果たしました。

今春の中西国大会で二位に甘んじた商大柔道部。今回はその雪辱を期して臨んだ大会でした。順調に勝ち上がり、迎えた決勝は徳山大学。今春3-1で完敗した相手です。実力は接近しており代表戦にまでもつれ込む苦しい戦いでしたが、商大の代表に立った大村竜一（法二）は冷静に一本勝ちを収め、春の雪辱を果たすとともに、大会五連覇を成し遂げたのです。

また、二十七日（土）から同会場で「平成十七年度中四国学生柔道体重別選手権大会」も併せて開催され、男女あわせて三階級で優勝を飾りました。

中四国学生柔道体重別団体優勝大会
優勝 岡山商科大学
（尼崎市）
十一月五・六日 全国大会へ出場

【男子】
86kg以下級 優勝 高谷浩大（法二）

73kg以下級 第四位 仙波大輔（商二）
81kg以下級 第三位 坪井孝文（法三）
第四位 毛頭理（経四）
90kg以下級 優勝 大村竜一（法二）
第二位 岡田 高（商四）

【女子】
48kg以下級 第二位 川端秀美（商二）
57kg以下級 第二位 藤岡明花（法三）
78kg超級 優勝 尾 栄子（商四）
十月一日 全国大会へ出場（東京日本武道館）

岡山の歴史を巡る

留学生視察研修

真夏の太陽が燦爛と照りつける中、恒例となった「留学生学外視察研修」が今年も開催され、八十名の留学生が岡山の歴史を巡る旅にでかけました。八時半に商大を出発した一行は、山陽自動車道を一路備前市へ。六古窯のひとつとして知られる備前焼の里に降り立ち、陶芸美術館を見学しました。千年の歴史を持つと言われる備前焼。備前の自然が与えた土や木を用いて育まれてきた土と炎の芸術は、釉薬を一切用いない素朴で力強い焼物です。有名・無名のさまざまな作家の作品が展示され



八塔寺で記念撮影



漢詩のミニ講義も行われた（於：八塔寺）

た館内で留学生たちは何を感じたのでしょうか？ 次に訪れたのは閑谷学校。鮮やかな緑の自然に囲まれた当地は、ますますその色彩で我々の目を驚かせます。全てを一望できる芝生の上に座り、学校の歴史に耳を傾けます。どっしりと構えた国宝の「講堂」、一対の楹の木を正面に從えた孔子像をまつる「聖廟」

。中国との深い歴史を色濃く感じさせる閑谷学校に、とりわけ中国からの留学生は、興味を引かれたようでした。講堂などの施設を見学し、自らの目や足、そして手でその歴史の一端に触れました。

八塔寺ふるさと村では、高頭寺で精進料理の昼食をいただいたあと、ご住職や本学高井教授の案内で村を

Okayama Shoka University

キャンパス

キャンパス

商大・学生魂ここにあり！

大学祭にかける 実行本部委員長の思い

「商大祭」40回を迎えて



大学祭実行本部
委員長 林 進一郎（商二）

はじめまして、第四十期大学祭実行本部の委員長を務めさせていただきます。ただいま林進一郎と申します。今年の商大祭は四十回目という記念すべき年でもあり自分がその年の委員長を任せられた事を誇りに思います。しかし、その商大祭の委員長というプレッシャーも正直感じていてみんなをまとめて上げる事が出来るだろうか？ 無事に成功することが出来るだろうか？ いつも活動している時に頭をよぎります。

しかし部員のみんなにも支えられ今年の商大祭も楽しく、また皆様に喜んでいただけるような大学祭を学生のみならず各サークル、大学関係者の皆さんと創りあげていきたいなと思います。

今年の商大祭のテーマは「商大万博のGo to モーター」に決まりました。このテーマの由来は今年開催された愛知万博にならって付けたのですが万博といえば毎回「世界平和」をテーマに開催されており、その国々の平和の考えや他の国の名産品などをもちより他国との交流を深め、よりよい世界を創り上げていくことに努力しています。

私達大学祭実行本部も愛知万博のように大規模に開催はできませんが皆さんの平和と大学全体の発展、交流のこの商大祭が少しでもいいのできっかけになればいいと思います。

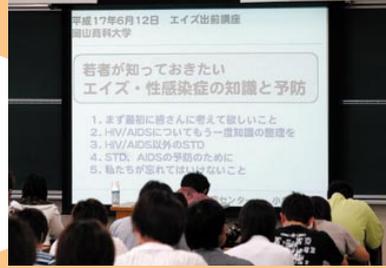
今年の商大祭も色々な模擬店やステージのイベント、プロコンサイトなど他にも楽しいイベントを用意してお待ちしています。

日程は十一月十一・十二・十三日の三日間です。何か商大祭についてのご質問などあれば岡山商科大学大学祭実行本部（086）25566852までご連絡をお願いします。



クラブ・ゼミなどで出店をだすのも、商大祭の一つの楽しみ方

正しい知識を持って！ リーダー研修 性感染症を学ぶ



六月十二日(日)各サークルの代表者を集めたリーダー研修会が、本学八三二教室で開催されました。本学の学生活動の基幹の一つであるサークル活動の代表者が集まり、リーダーとしての資質を高めることを目的としたもので、学生課の主催で毎年行なわれています。今年は約九十名の学生が参加し、約四時間にわたり研修を行いました。

メインとなる講演は、岡山大学保健環境センター助教授の小倉俊郎先生をお招きした「若者が知っておきたい「エイズ・性感染症の知識と予防」と題したお話でした。日頃知る機会のない性感染症知識の不足からくる若年層の感染者が近年増加傾向にあるといわれており、そうした状況を認識しつつ、正しい知識を持ち、パートナーを大切にすることを学んだのです。

サークル活動は、組織の仕組みや人間関係を学ぶことができ、人格の形成のうえで社会性を養うことのできる有効な大学での活動の一つといえます。参加したリーダーの皆さんは、それぞれのサークル活動を今まで以上に盛り上げ、力強く牽引していくことと決まっています。

みんなに応援されるチームに！

軟式野球部

こんにちは。軟式野球部です。私たち軟式野球部は現在顧問の井上倫明先生、四年生四人、三年

生七人、二年生六人、一年生十一人、マネージャー二人の計三十名で活動しています。

下関市で行なわれたリーグ戦では四勝二敗で七チーム中三位という結果でした。上位二チームが部との入れ替え戦への挑戦権を獲得できるのですが、残念な結果に終わってしまいました。しかし今年是一年生が十一人も入部してくれて、部員同士刺激あつて、上級生にもいい刺激を与えてくれています。平日は昼休みの一時間、土日は九時〜十二時までという限られた時間の中で、一生懸命練習に取り組んでいます。

今回のリーグ戦終了後のミーティングで部員の誰かが言いました。「いい試合より勝つ試合をしよう」と。これは、部に降格してしまった私達にとっては必要だと思いました。確かにいい試合も必要です。しかし、私達は勝たなければリーグに昇格できないのです。この時みんなのこれからの目標が決まったと思いました。応援してくださるOBの方々、大学の先生方、多くの友達みんなの応援に応えることができるように、これからも日々努力していきたいと思っています。

そしてもう一つ。運動部では途中入部はなかなか難しいと思いますが、やる気のある野球大好きな少年なら大歓迎なので、気軽にグラウンドに足を運んでみてください。そしてチャットを見て、入りたいなと思ったら私たちに声をかけてください。もちろんマネージャーも募集しています。

これからもどんな人にも「このチームは応援したいチームだな」と思ってもらえるよう部員、



マネージャーみんな
で野球を楽しんで元
気に頑張ってください
と思います。応援
よろしくお願いします。
マネージャー
赤松美由紀(法四)

エッセー 数珠つなぎ



旅に出よう!

経済学部 講師 森元早苗

“人”との出会いが“自分”を成長させる

夏休み前周りの人から、「この夏はどこ海外へ行くの?」と聞かれることが多かった。確かに、大学時代から、長期の休みの度に海外に行っていた。
航空券だけ持って当てのない旅に出たので、両親も最初は心配していた。しかし、今では、両親からも「今年はどこに行くの?」と聞かれるようになった。
なぜ、それほど旅に出るのか? 旅好きの両親の影響がもじれない。また生活スタイルが全く異なる環境の中に身を置き、その国で知り合った人々と話すことで、何かを発見するためかもしれない。

大学時代に行った旅の中で、最も印象的なのは、友達と二人で行ったインドである。最初は、何をしてもどこへ行ってもお金を要求され、しかも全然違う場所に連れて行かれる。「外国人は金持ちだから、お金をたくさんとって当然だ」という態度に不愉快な思いをすることが多かった。次第にインド人と接するのにも嫌になつていった。「彼らも食べていくために必死なんだよ。たいした金額じゃないでしょ?」人を信じるかは、賭けだ。心を開いていたら、ぜんぜん楽しいよ!と日本人旅行者になだめられたこともあった。

ある時、バスの中であるインド人の男女が、現地を案内してあげようと言ってきた。正直、不信心はかなりあったが、友達と相談し、この二人に賭けてみることにした。好意に甘えることにしたのだ。彼らは、案内だけではなく、次の訪問地までの交通手配から、自宅に招いて食事と寝床を提供してくれたのだ。疑った自分が恥ずかしくなった。

当時、いかに少額で旅をするかが、私の旅の目的の一つではあったが、私が現地で力月の間に使ったお金はわずか三万円。果たして私は本当に楽しんだのか?

それから八年。留学時代の友人の結婚を祝福するため、今年の春にインドを再び訪れることになった。相変わらず外国人の私には金銭トラブルが尽きず、友達夫婦も申し訳なきさうにしていたが、七年前のような不快感はもつた。むしろ、前回のインド旅行の後の旅行経験によって、交渉力が身につくトラブルを楽しんだ。そして何より楽しかったのは、旅の途中に出会ったインド人との交流だ。かなり気軽に話しかけてくる。「水をくれ。おやつ食べるか?」から来たインド人は好きか?どこまで行くのだ? 何し?」という風に。

このような旅には、危険が伴つて、行動全てに責任を伴つた。だが自分でも予想もできない出来事、出会いが待っている。この経験が自分を成長させてくれる。

皆さんも、比較的長期の休みが取りやすい大学時代に旅に出てみてはどうだろうか? お金はなくても、それなりに楽しめるもの。世界中には、本当にいろんな人がある。果たして自分の「当たり前」はどこまで通じるかな?

残念ながら私は、この夏はつと国内にいた...

サクセスを勝ち取ろう! 就職 便り

Okayama Shoka University

内定率 昨年同期より大幅アップ “仕事に合わせて”意識改革

平成17年度8月末現在の内定率は63.9%。昨年同時期の48.7%から15.2%向上しています。景気回復の兆しがあり求人数が増えたことも要因ではありますが、進路・就職活動に対して真剣に取り組んだ学生が多かったことが今年の特徴です。就職部では電話等を利用して定期的に学生個々へ支援を行っておりますが、その際、昨年と比較にならないほど活動している学生が多かったことに驚かされました。その結果がこの時期、出ているものだと思います。また、早期に内定が出た学生たちの多くが、就職活動を継続することが今年の特徴です。彼らの自信が将来の選択肢を広げさせているのではないのでしょうか。

その一方でまったく就職活動ができていない学生もおります。その彼らの特徴は次のようなものです。

単位が不足している 4年生に進級した段階での単位があまりにも少なくすべての曜日に授業が詰まっている学生。3年までにてできるだけ単位を取得し授業に余裕を持たせてください。

年度	8月末内定率	年度末
17年度	63.9%	
16年度	48.7%	93.8%
15年度	49.3%	92.6%

事務職にしか興味を持たない 近年の就職環境の中、多くの企業が事務職を必要としておりません。パソコンの普及で事務処理の効率化が図られています。

コミュニケーションが苦手 会話が苦手ということは致命傷です。営業職ではもちろん事務職でも必要とされません。また、工場のライン業務においても大学卒の場合は人の管理が求められます。

さて、その彼らが、それぞれが持つ弱点を解決できるか否か、それは彼ら自身の努力しかありません。自分の将来を自分の性格で選ぶのではなく、仕事に合わせて意識改革する努力が必要です。社会人にはあらゆる環境に対応できる柔軟性が重要です。

インターンシップで社会人体験! ~働かってどんなこと?~

今年も学生の夏休み期間を利用して、岡山県経営者協会等の協力により、インターンシップ(企業での就業体験)を実施しました。インターンシップとは在学中に、民間企業や官公庁、ボランティア団体等で実際に就業体験することを言い、学生が将来の進路を決めるため、また自分を見つめ直す良い機会として重要視されています。また、就職活動をする際にも大きなPR要素となり、最近では自社でインターンシップを経験した学生を優遇するという動きも出てきています。

さて、本学からは岡山県内及び香川県内の13企業・団体に18名の学生が参加をし、貴重な経験をしました。(株)

天満屋の銘菓売り場でインターンシップを体験した奥原史帆さん(法経学部経済学科3年生)は「行く前は不安と緊張でいっぱいでしたが、実際に働いてみると、新しい事を学ぶのがとても楽しく、失敗した事や大変な事もたくさんありましたが、毎日が勉強と発見で10日間があっという間にすぎました!疲れましたが(笑)」と答え、笠岡市役所で体験をした井田勇生君(法経学部法学科3年生)は「自分がこんなに変われるとは思っていませんでした。自分を変えていくべき点も見つかったので、これからの目標が出来ました。もっと早く参加すればよかったです!」と目を輝やかせます。二人のコメントを見てもらえば、その効果のほどがわかってもらえるでしょう!まだあどけなさの残る学生の面影が、一回りも二回りも頼もしく見えた2005年の夏休みでした。



天満屋で研修中の奥原史帆さん

小特集

資格への道のり その3

「簿記検定」への道

日商簿記検定試験とは

簿記とは企業などの組織の活動を記録し、ある一定期間に獲得した利益額を算定するためのシステムです。ビジネスの世界で必要な会計の知識を修得したり、税理士などの専門職業につくためには、簿記の知識が必ず必要になります。

日本商工会議所主催の簿記検定は、簿記の検定試験のなかでも社会的に評価の高いものの一つです。また、1級合格者には、税理士の受験資格が与えられるなどの特典があります。

学習方法について...

簿記の知識はポイントだけおさえれば修得できるというものではありません。計画的で継続的な学習をするように心がけましょう。

日商簿記検定に挑戦する場合、問題集を毎日少しずつ解き進め、検定試験の1カ月くらい前からは、過去問題集や模擬試験問題集などに取り組み、合格点を取れるように準備することが大切です。

勉強方法や疑問点などは、会計教育センターや会計科目担当教員に気軽に相談してください。個々人に応じた学習方法などのアドバイスをいたします。

また、社会総合研究所では秋の試験に向けて、簿記2級及び3級の試験対策講座を毎年開講しています。

会計学科長から一言

会計学の知識やその基礎となる簿記の知識は、社会の多くの分野において必要とされるものであり、その必要性は今後ますます高まると考えられます。

その点からも、自分を高めるための手段として、より上位の簿記検定に挑戦することもいいでしょう。さらに、簿記の資格取得を通じて知識を高め、税理士試験などのより高度な学習に進んでもらえることを期待します。

会計学科長 / 堤 一浩

情報アラカルト

せきがく

夕学講座 後期スケジュール決定



本学では社会人の自己啓発を支援する、衛星放送によるビジネススクール「夕学講座」を開催しています。岡山でご覧いただけるのは岡山商科大学でのみです。見逃せない!! 聞き逃せない!! 時代の最先端講演を商大で。

10月19日(水)

▶秋元 康
作詞家
「秋元流プロデュース論 ~答えは自分の中にある~」

10月24日(月)

▶藤原 和博
元リクルート社フェロー・現杉並区立和田中学校長
「公教育の未来」

10月27日(木)

▶隈 研吾
建築家・慶應義塾大学理工学部 教授
「建築と自然との共生」

10月31日(月)

▶くらたまなぶ
株式会社あそぶとまなぶ 代表取締役
「カラダ発想術 ~やわらか右脳マーケティング~」

11月8日(火)

▶大橋 洋治
全日本空輸株式会社 代表取締役会長
「アジアNo.1を目指して」

11月11日(金)

▶宮本 亜門
演出家
「亜門流コーチング」

11月16日(水)

▶原田 隆史
奈良県天理大学 非常勤講師
「カリスマ教師が語る人材開発論」

11月21日(月)

▶小泉 武夫
東京農業大学応用生物科学部 教授
「食の冒険家 大いに語る」

11月30日(水)

▶関 満博
一橋大学大学院商学研究科 教授
「中国「民営中小企業」の先進性」

12月1日(木)

▶堀 紘一
株式会社ドリームインキュベータ 代表取締役社長
「Ever onward!」

1月17日(火)

▶姜 尚中
東京大学情報学環学際情報学府大学院 教授
「東北アジア共同体に向けて ~日本とアジアの共生~」

1月25日(水)

▶藤原 正彦
お茶の水女子大学理学部数学科 教授
「知識・論理・情緒」

1月27日(金)

▶榊原 英資
慶應義塾大学 教授
「インドを読み解く」

2月1日(水)

▶池田 弘
株式会社アルビレックス新潟 代表取締役会長
「アルビレックス新潟の奇跡と軌跡」

2月3日(金)

▶山本 一力
作家
「人生の目利きになる」

会場 / 岡山商科大学

時間 / 18:30 ~ (18:00開場)

お申し込み / 社会総合研究所

☎(086)256-6656

詳細は本学ホームページ

(<http://www.osu.ac.jp>)

に掲載しています。

本学学生の受講は無料です

松大・甲南大で学べます 単位互換制度による 派遣聴講生募集(商学部)

本学は、松山大学及び甲南大学と単位互換の協定を結び、学生の受け入れと派遣を行っています。

多感な青春の一時期、他大学の空気や文化に触れて、人間としての視野や行動力などを身に付けて下さい。詳細は教務課まで。

1. 協定大学
松山大学(経営学部)

2. 履修できる単位数
各入学年度で定められている2年次・3年次の履修可能単位数の範囲内
3. 聴講できる科目
協定大学の開講科目(ただし履修希望科目を事前に報告し、承認が必要)
4. 単位認定
60単位まで卒業単位数に認定します。
5. 派遣期間
派遣期間は、平成18年4月1日から1年間とします。
6. 派遣聴講生の資格

7. 選考方法
書類審査と面接により派遣聴講生の内定を行います。
8. 出願期間
平成17年10月17日(月)~28日(金)

人事異動

退職(7月31日付)
〔専門学校デジタル・メディアカレッジ岡山〕
主任 / 佐藤 仁

商大 よろず 掲示板

よろず掲示板では、みなさんからの掲示希望情報を募集しています。学生・父兄の方を問わず、いろいろな情報をお寄せください。

岡山商科大学における “個人情報保護方針” について

岡山商科大学(以下「本学」という)は、人格尊重の理念の下、個人情報の保護の

重要性を深く認識し、教育研究機関としての社会的責務を果たすとともに、社会の信頼に応えるため、個人情報の取扱いについて、十分な配慮及び適正な措置を講じることとし、以下の方針を定め、これを誠実に遵守いたします。

1. 本学は、保有する個人情報を保護するため、岡山商科大学個人情報保護規程を定め、遵守するとともに、継続的な改善に努めます。
2. 本学は、業務に従事するすべての者に対する教育啓発活動を実施するほか、個人情報を取り扱う部門ごとに情報管理責任者を置き、個人情報の適切な管理に努めます。
3. 本学は、個人情報の収集にあたり、その目的を明らかにし、収集した個人情報の使用範囲を目的達成のために必要な限度に限定し、適切に取り

扱います。

4. 本学は、個人情報に関する開示、訂正、追加、利用の停止等については、対応窓口を設置し、本人の申し出に基づき、誠実に対応します。
5. 本学は、法令に基づく場合を除き、本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供いたしません。
6. 本学は、個人情報の正確性及び安全性を確保するために、不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏洩等に対する適切な対策を講じ、防止に努めます。
7. 本学は、個人情報の保護に関する法令、指針等を尊重し、遵守するよう努めます。

平成17年7月

岡山商科大学

平成17年度 学生懸賞論文の募集

岡山商科大学学会では学生の皆さんの論文を募集しています。次の要項でふるって応募ください。

応募資格

大学院生の部...本学大学院生
学部学生の部...本学学部学生
(4年生は単著に限る。1~3年生はグループ執筆も可)

論題・テーマ / 自由

様式 / 自由(図書館2階カウンターで過去の受賞作を閲覧できます)

賞・副賞

最優秀賞...副賞10万円(各部から各1点)

優秀賞...副賞3万円(各部から各1点)

佳作...副賞1万円(若干点)

応募締切 / 平成18年1月13日(金)

提出場所

図書館2階カウンター「懸賞論文・応募箱」

その他

応募論文は未発表で自作(自グループ作)

に限る。応募論文は返却しません。

商大論叢 四十周年記念号を発売

岡山商科大学学会は本学創立40年を

記念して、「岡山商大論叢 岡山商科大学40周年記念号」を発売しました。本文448ページ、名誉教授を含めた13名の本学教員が執筆を担当し、濃紺クロス張りの豪華装丁で記念号に相応しい内容となっています。本書に関するお問い合わせは附属図書館(086-256-6657)

総四四八ページ
クロス張り豪華装丁で記念号に
相応しい内容となっている



国際派を目指すあなたに ニュージーランド日本語教育 アシスタントティーチャーを募集

本学はニュージーランドのワイアリキ工科大学と協定を結び、日本語教師の助手として日本語を教える学生を募集しています。海外での生活を通じて、国際的視野を育み、かつ行動力のある人材を養成することを目的としています。詳細は教務課まで。

1.協定大学

ワイアリキ工科大学(ニュージーランド)

ロトルア)

2. 聴講できる科目
協定大学の開講科目(英語コースのプログラムも受講できます)。
3. 授業料について
(1)派遣期間中も授業料等の納付が必要です。ただし、助成措置として施設整備費を免除します。
(2)協定大学での聴講料は必要ありません。
4. 自己負担について
渡航費及びホームステイの食事及び宿泊費等の生活費が必要です。
5. 派遣期間
派遣期間は、原則1年間(後定期試験終了後、2月出発)とします。
6. 派遣学生の資格
全学部・全学科.....全学年
7. 選考方法
書類審査と面接により派遣学生の決定を行います。
8. 出願期間
平成17年10月17日(月)~28日(金)



昨年参加した三岳未央さん(産四 写真中央)

商大祭

本学の開学は昭和40年。商大祭はその翌年から開始され、今年で40回を数える。

本学黎明期の学生の手による新聞「岡山商科大学新聞」第4号をひもとくと「学生の参加が消極的」との指摘が早くも見える。参加する学生と参加しない学生、両者の微妙な均衡の中で、商大祭は着実に育まれてきた。学生の数だけの想いで彩られる、商大祭。これからも新たな色彩を加えつつ、絶え間なく歩んでいくに違いない。



市中を仮装してねり歩いた(昭和58年 第18回商大祭)

イチオシ! この一冊

あなたの“未来予想図”実現のため フリーター・ニートになる前に...

「あなたの20年後を想像してみてください。そこにはどんなあなたがありますか?」...。例えば5年後の自分は想像しにくいかもしれませんが、20年後となると「自分はこんなふうになりたい、こんなふうになければならないであろう」というのが想像できるのではないのでしょうか。今回ご紹介する本は、その未来予想図の実現のために参考にしていただきたい本です(この本は高校生向けに書かれたものですが、大学生の皆さんにとっても十分に価値のある内容です)。

この本では最初の単元で「フリーターの落とし穴」について書かれてあります。卒業後、正社員ではなくフリーターにならばどのような不利益を被るのか、どのような人がフリーターになりやすいのか等々。卒業後フリーター希望の方がいれば、この部分だけでも構わないので是非読んでいただきたい単元です。ここを読んだだけでも、皆さんのフリーターに対する見方が大きく変わってくるはずです。

この本は漫画の単行本サイズで、そんなに厚みのある本ではありません。また定価750円でそんなに高価でもありません。ぜひ手にとっていただきたい一冊です。(総務企画課 吉原裕一)

この本は漫画の単行本サイズで、そんなに厚みのある本ではありません。

また定価750円でそんなに高価でもありません。ぜひ手にとっていただきたい一冊です。(総務企画課 吉原裕一)

「フリーター・ニートになる前に読む本」

鳥居徹也 著(船橋情報ビジネス専門学校 企画広報室室長) / 三笠書房(2005)



編集後記

夏休みがあげて、キャンパスにはにぎわいが戻ってきます。▶今年、40回を迎える商大祭。メモリアルイヤーです。委員長の林君には今の意気込みを文字にしてもら

いました。活気に満ちた楽しい商大祭となることを期待します。▶毎年この時期は話題が少なく、記事を埋めるのも一苦労ですが、今年は多くの活動をお伝えできま

た。▶「情報アラカルト」には学生生活をより豊に彩るための情報が眠っています。まず“参加”してみてもはどうでしょう(〇)

ご意見・ご感想等は、総務企画課学報担当まで E-Mail / gakuho@po.osu.ac.jp